

別委員会を設置する。八十歳以上の医療費を無料化する。▽グミ手数料を廃止、収集区域を全市に拡大。▽七日町明学院の大カエデが県天然記念物に指定される。▽萩川駅、古津駅が無人化になる。

▽四十六年 市営マリーネットの撤去が完了。医療費無料化を七十七歳まで引下げる。▽新金沢保育所を新設。成人式が五月三日に変更される。▽倉庫センターが古田地内へ移転。▽はしこ付き消防車が配置される。▽白井橋が永久橋で開通する。

▽四十七年 広報にいつが月二回発行となる。医療費無料化を七十五歳まで引下げる。▽公共下水道事業が認可される。市議会が「総合開発基本構想」が議決される。▽豊年橋が永久橋に。▽松坂市内流しが三年ぶりに復活。▽市内沿線からSLが姿を消す。

▽四十八年 医療費無料化を七十歳まで引下げる。六十五歳から七十歳までのねたき老人の無料化も実施する。▽市文化財調査審議会が設置される。▽鉦盛橋の永久橋掛替え完成。▽妊産婦、乳児、重度心身障害者の医療費無料化を実施する。▽新津市の木、推奨の木を選定する。▽市民会館が完成する。

▽四十九年 第一・第二保育所の鉄筋園舎と、桃源橋の永久橋掛替え、鉄筋市営住宅（新栄町、一日四十トン能力の焼却炉がそれぞれ完成。市立中沢保育所が竣工する。▽老人福祉センターが完成。市道舗装五か年計画を短期実施して新三か年計画に着手。▽第一回の市展と芸術発表会を開催。▽金沢地区の柿田地造成工事が完成。▽乳児の医療費無料化を二歳未満児まで拡大。▽県立普通道立新設同盟会が結成され、誘致運動をおこす。

▽五十年 給食センターが完成する（四千食分）。▽第三小学校の建設に着手する。▽第一回市民植樹祭を行う。▽母子健康センターの助産部門を廃止する。▽労働者福祉共済が発足する。▽「煮坪」、「幸清水」を市文化財に指定する。▽市民テニスコートと市民プールが完成。▽阿賀浦橋のかさ上げと新設橋工事が完成。▽五十二年 新津市みどりの協議会が発足。市制施行二十五周年記念事業の一つとして「奨学基金制度」がスタート。市制施行二十五周年記念式典を挙げる。

し、「市民憲章」の制定を宣言する。▽五泉市と協力しながら高校誘致を進めるため「新津・五泉両市県立普通高校誘致期成同盟」を発足させる。▽第一回「市民文芸祭」が開かれ、文芸にいつ第一号を発行する。▽市の人口が六万の大台に（五月三十一日）。

▽五十二年 医療費無料化を二歳未満児まで拡大。▽三小と萩川保育所が完成する。▽社会体育課ができる。▽交通事故激増に対し「交通事故抑止緊急対策本部」を設置する。▽一人暮らし老人家庭に福祉電話を設置。▽高齢者職業相談室を開設。▽駅前二階建ての自転車置場を設置する。▽下水道終末処理場の起工式を行う。▽青年会議所が「にいつの昔話」を出版。▽新津郵便局の新局舎が完成する。▽新潟大学公開講座、成人大学講座を開催する。

▽五十三年 第三幼稚園が開園する。▽し尿処理場の増設工事が完成。▽重度心身障害者の医療費の無料化の範囲を拡大。▽第一回ふろうハイキングを実施。▽妙蓮寺山門など四件を市文化財に指定。▽第十四回「県民スポーツの日」中央大会を市営野球場で開催。▽六・二六水害に襲われる。▽新しい図書館、視聴覚センターがオープンする。▽市民プール脇に児童幼児用プールができる。▽能代川改修事業が「激特事業」に指定される。▽老人生きがい対策事業を開始。▽第二次農業構造改善事業に着手。▽都市計画課、能代分庁対策室を設置。▽学童保育所「子どもの家」を開所。▽新津市美術協会が発足する。

▽五十四年 金津小、結小、一中の増設工事が完成する。▽信濃川下流流域下水道新津処理区の計画が承認される。▽「新津市誌」を刊行。▽国際児童新津市中央大会が開かれる。▽秋葉公園正面地区広場に噴水が完成。▽技能功労者表彰制度を発足。▽三条・新津バイパス線国道昇格期成同盟会が発足。▽五十五年 新津市普話集「三枚の札」を刊行。▽一中の特別教室、中沢保育所新園舎が完成し、武道館、斎場もオープンする。▽青少年補導チームを青少年育成相談センターに改称。▽県立南高校、交通安全センターができる。▽秋葉公園に日本庭園が完成する。▽史上初の衆・参同時選挙。▽吉岡路切が開通する。

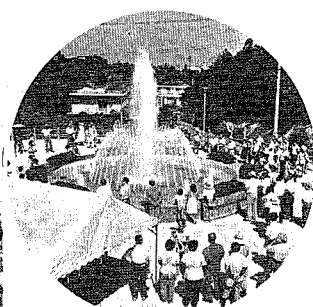
58年で市は30歳に

51年～55年

教育・文化の場を広げて

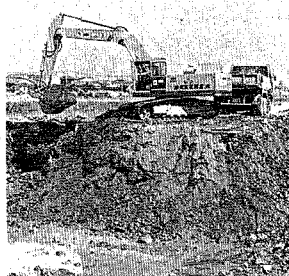


視聴覚・集会機能を備えた新図書館は53年7月オープンです。



熱い場づくり・秋葉公園に正面地区広場が完成。噴水も通水に。(54年8月)

▽子どもたちのために年次的に教育環境の整備を。52年には美幸町に市内11校目の第三小学校ができました。



水害に悩まされ続けた新津市。53年には能代分庁が「激特事業」に指定、昨年から掘削が始まりました。

▽出生 26年…1日に3.7人 54年…1日に2.4人 ▽死亡 26年…1日に1.2人 54年…1日に1.0人 ▽世帯人員 26年…1世帯に5.5人 54年…1世帯に4.0人 ▽結婚…26年…0.9日に1組 54年…0.86日に1組



30周年をグラフに
近く配布します
市では、市制施行三十周年を記念して、近く「記念グラフ」を発行、全部のお宅へ配布することにしています。
昭和二十六年からの新津市の勢のあゆみを綴ったもので、今のところB4版・48ページを予定して、当時の風俗や環境、街並みなども盛り込むことにしています。
市制施行日が昭和二十六年一月一日のため、当初、新年

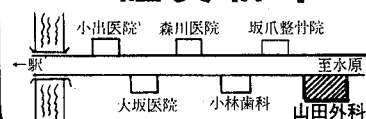
お買物、ご用命は市内で

謹賀新年

胃腸・皮膚・肛門(ち)・泌尿・X線

山田外科医院

新町2丁目1-6 TEL(2)0432



別委員会を設置する。八十歳以上の医療費を無料化する。▽グミ手数料を廃止、収集区域を全市に拡大。▽七日町明学院の大カエデが県天然記念物に指定される。▽萩川駅、古津駅が無人化になる。

▽四十六年 市営マリーネットの撤去が完了。医療費無料化を七十七歳まで引下げる。▽新金沢保育所を新設。成人式が五月三日に変更される。▽倉庫センターが古田地内へ移転。▽はしこ付き消防車が配置される。▽白井橋が永久橋で開通する。

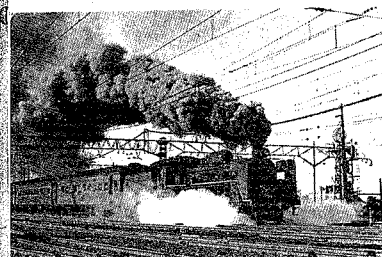
▽四十七年 広報にいつが月二回発行となる。医療費無料化を七十五歳まで引下げる。▽公共下水道事業が認可される。市議会が「総合開発基本構想」が議決される。▽豊年橋が永久橋に。▽松坂市内流しが三年ぶりに復活。▽市内沿線からSLが姿を消す。

▽四十八年 医療費無料化を七十歳まで引下げる。六十五歳から七十歳までのねたき老人の無料化も実施する。▽市文化財調査審議会が設置される。▽鉦盛橋の永久橋掛替え完成。▽妊産婦、乳児、重度心身障害者の医療費無料化を実施する。▽新津市の木、推奨の木を選定する。▽市民会館が完成する。

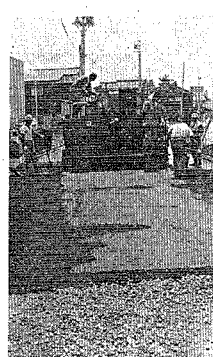
▽四十九年 第一・第二保育所の鉄筋園舎と、桃源橋の永久橋掛替え、鉄筋市営住宅（新栄町、一日四十トン能力の焼却炉がそれぞれ完成。市立中沢保育所が竣工する。▽老人福祉センターが完成。市道舗装五か年計画を短期実施して新三か年計画に着手。▽第一回の市展と芸術発表会を開催。▽金沢地区の柿田地造成工事が完成。▽乳児の医療費無料化を二歳未満児まで拡大。▽県立普通道立新設同盟会が結成され、誘致運動をおこす。

▽五十年 給食センターが完成する（四千食分）。▽第三小学校の建設に着手する。▽第一回市民植樹祭を行う。▽母子健康センターの助産部門を廃止する。▽労働者福祉共済が発足する。▽「煮坪」、「幸清水」を市文化財に指定する。▽市民テニスコートと市民プールが完成。▽阿賀浦橋のかさ上げと新設橋工事が完成。▽五十二年 新津市みどりの協議会が発足。市制施行二十五周年記念事業の一つとして「奨学基金制度」がスタート。市制施行二十五周年記念式典を挙げる。

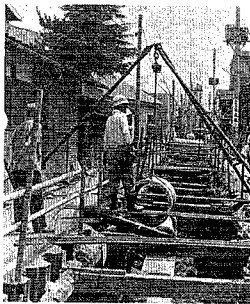
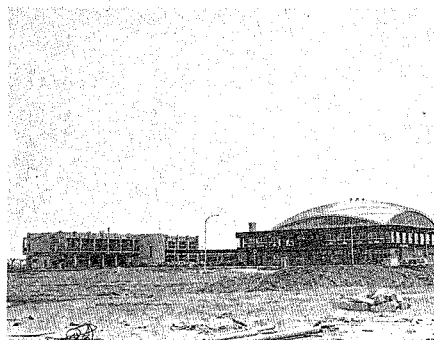
45年～51年



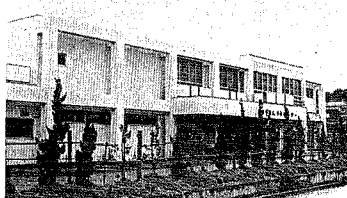
勇姿を誇ったSL…国鉄のまちのスターだったSLも47年羽越線の電化で完全に姿を消しました。(新津駅構内をばく進する蒸気機関車)



市民の待望していた市民会館は48年11月に完成し、多くの人から利用されています。55年にはこの裏にりっぱな武道館がオープンしました。



快適な生活環境を作る公共下水道事業は47年から。今春からは、いよいよ供用、開始の予定です。(写真は48年、善道町地内で)



49年、お年寄りの「広場」、老人福祉センターが完成



▽ゴミ処理量
26年…1日に4.8トン
55年…1日に48.5トン

▽自動車
26年…76世帯に1台
55年…1世帯に1.6台



お買物、ご用命は市内で

あけましておめでとうございます

温室マスクメロン
果物の女王、高貴な甘さと香り
ほどよく熟してからご賞味下さい
フレッシュでおいしい果物の店
やまいし
新津市本町3 TEL 3-0397

あけましておめでとうございます

より良いサービスと
楽しい暮らしに奉仕する店
(株)八重電商事
本町二 TEL 4-3131代